

富士工業グループ、 「かながわSDGsパートナー」に登録

-FUJIOH-
富士工業株式会社

富士工業グループ（神奈川県相模原市／厨房機器製造・販売／代表取締役社長 柏村浩介／以下、FUJIOH）は、2020年4月13日、「かながわSDGsパートナー」に登録^{*1}されました。

「かながわSDGsパートナー」は、SDGsの推進に資する事業を展開している神奈川県内の企業を神奈川県

がパートナーとして登録する制度であり、各社の取組事例を広く発信するとともに、県と企業が連携してSDGsの普及促進活動を行っております。

この度FUJIOHは、SDGsの17の目標のうち、下記4つの目標に関連した取り組みが神奈川県に評価され、「かながわSDGsパートナー」に登録されました。

【かながわSDGsパートナーとは】

神奈川県は、SDGs（持続可能な開発目標）の推進に先進的に取り組んでおり、国の「SDGs未来都市」に選定されています。「かながわSDGsパートナー」とは、SDGsの推進に資する事業を展開している神奈川県内の企業・団体等を神奈川県がパートナーとして登録する制度です。企業・団体等の取組事例を神奈川県が募集・登録・発信するとともに、県と企業・団体等が連携してSDGsの普及促進活動に取り組んでいます。

URL：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs/partner.html>



FUJIOHが評価された4つの取り組み

1. 目標5：ジェンダー平等を実現しよう

FUJIOHでは、在宅勤務制度や法定よりも長く日数取得が可能な育児休業・介護休業を導入し、性別関係なく、全ての従業員が働きやすい環境づくりに尽力しています。



2. 目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

2030年までに世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させるという目標のもと、FUJIOHは空調エネルギーロスの削減に繋がる室内循環レンジフード^{写真1}や清掃時の節水に繋がるオイルスマッシャー搭載レンジフード^{写真2}等、環境負荷を軽減させる製品開発に取り組んでいます。



写真1 室内循環フード



換気による汚れた外気の侵入や、空調エネルギーのロスをなくし、快適な空気環境を保ちます。快適に空調された空気の屋外への排出量を削減することにより、空調効率を高め、省エネおよびCO₂の排出量を削減し自然環境を守ります。さらにIHクッキングヒーター専用の室内循環レンジフードを、どのような加熱機器にも対応できる次世代型室内循環フードへ発展させる取り組みを行っています。

※1 登録名は、グループの持ち株会社である富士ホールディングス株式会社

3. 目標8：働きがいも 経済成長も

室内循環レンジフード^{写真1}やオイルスマッシャー搭載レンジフード^{写真2}等、付加価値の高い製品を開発・販売することで、経済生産性の向上にも貢献しています。また、多国籍採用や障がい者雇用にも取り組んでおり、多様な人財が個々の力を活かして働くことができる環境づくりに努めています。

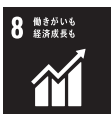


写真2 オイルスマッシャー搭載レンジフード



高速回転するディスクが煙に含まれる大半の油をキャッチ。レンジフード内部(ケーシング)に付着する油を削減することで清掃時間を短縮でき、節水に貢献します。

4. 目標12：つくる責任 つかう責任

FUJIOHでは、廃材のリサイクルや廃液の処理などに責任を持って取り組んでおり、環境に配慮した生産体制を整えています。



「空気を変え、環境を変え、明日を豊かに変えていく。」をブランドビジョンに掲げるFUJIOHは、培ってきた経験や技術を活かし、持続可能なよりよい世界の構築を目指すパートナーとして、今後も様々な問題の解決に貢献してまいります。

FUJIOHのSDGsへの取り組み

<https://www.fujioh.com/sdgs/index.html>

